

電 波 時 計

(置 時 計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 暗くなると秒針が停止します

もくじ

安全にお使いいただくために	使用方法.....	4
はじめにお読みください..... 2	受信の流れと受信表示ランプの見かた.....	4
お手入れについて..... 2	電波サーチ機能の使いかた.....	5
電波時計について..... 3	こんなときには.....	5
• 電波時計とは	標準電波を受信できない場合.....	6
• 標準電波とは	手動での時刻合わせ.....	6
• 電波の受信範囲について	電波受信機能のON/OFF設定.....	6
• 標準電波の送信停止について	電池の交換について.....	7
• 海外でのご使用について	• 電池使用上のポイント	
• 電波を受信しにくい環境	• 電池の種類について	
	• 電池の寿命について	
	電池・時計の廃棄.....	7
	おもな製品仕様.....	8
	アフターサービスについて.....	8
	• 問い合わせ先	

発売元 **リズム時計工業株式会社**


〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

警告


死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止


- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 乾電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。


 電池からもれた液にふれない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意


傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。
分解禁止

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
必ず守る

■使用場所について

 下記のような場所では使わない。
必ず守る 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。(プール、温泉場など)
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

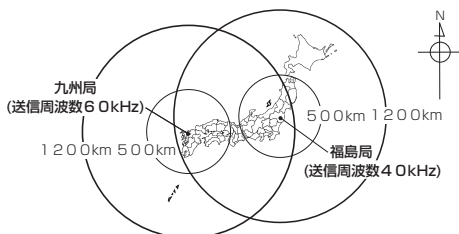
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

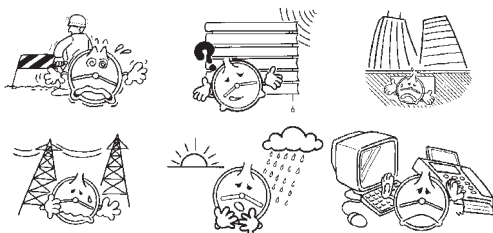
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信スイッチをOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

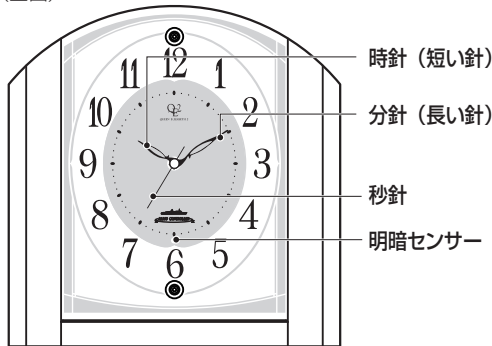
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



使用方法 電池を入れて標準電波を受信して時刻を合わせる

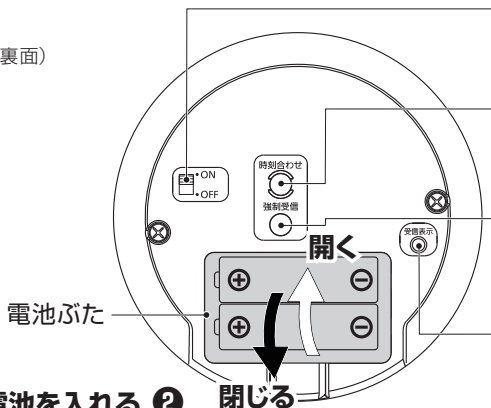
●図は操作説明用ですので、実際の商品とは異なることがあります。

(正面)



※水平で振動の少ない所に置いてください。

(裏面)



電池を入れる ②

- ①電池ぶたを取り外す。
- ②単3形アルカリ乾電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて2個入れる。
- ③電池ぶたを取り付ける。

商品の種類によっては、重いものがありますので、注意してお取り扱いください。

通常の針の動きについて

時針、分針：10秒単位に動く

秒針：1秒ステップ

自動受信で時刻を修正するときには、早送りや一時停止することがあります。

暗くなると止まる秒針

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間照明されているときでも明るさが不足すると止まります。

電波受信スイッチ ①

ON：電波を受信して時刻修正

OFF：電波を受信しません

時刻合わせボタン

手で時刻を合わせるときに使用します。

不用意に押すと時刻が変わります。

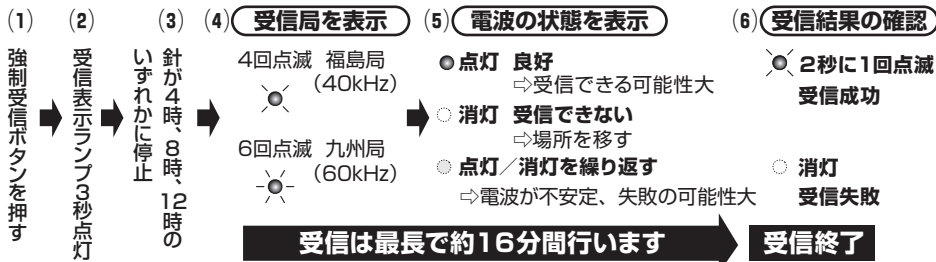
強制受信ボタン ③

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに押します。

受信表示ランプ

受信の状態や受信結果を点灯、点滅で表示します。

受信の流れと受信表示ランプの見かた (電波サーチ機能)



標準電波を利用しないで時刻を合わせる場合は、「**手動での時刻合わせ**」(P.6)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電波受信スイッチをONにする

② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる

※電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

③ 強制受信ボタンを押す

受信の流れと受信表示ランプの見かた 参照

受信表示ランプが3秒間点灯して受信を開始します。また、針は4時、8時、12時のいずれかの時刻に早送りで移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

④ 16分待って受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。

受信表示ランプが2秒に1回点灯すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。

消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、「**標準電波を受信できない場合**」(P.6)を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

電波サーチ機能の使いかた……………電波を受信しやすい所を探すには

①窓際やベランダで左図の(5)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。

受信表示ランプが消灯しているときは、時間帯や日を改めて試してください。

②時計を置く所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。

受信表示ランプが点灯しないときは、時計の位置を変えてみてください。

こんなときには

☐ 電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。

▲ 正常に戻すには、次の操作をしてください。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押してください。



標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることで使用になれます。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒は、時刻合わせボタンを離したとき、ゼロ秒に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りですべての時刻の秒位置まで動きます。

※電波受信スイッチがONの場合、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFF設定

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

○電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。

○電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信ボタンを押してください。

○受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24～25時間点滅し続けることがあります。

電池の交換について



注意

電池からの液もれにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。

こんなときには電池の交換が必要です

- 時計が停止したとき。
- 時計の進み／遅れが大きいとき。
- 針が不規則な動きをするとき。
- 電池を交換してから2年を経過したとき。

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例 . Panasonic オキシライド乾電池)

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度
秒針 ±1秒
時分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±20 秒 (常温中のオーツ精度)

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS LR6 2個
電池寿命 約2年 受信に成功して、暗所で1日
当たり7時間秒針が停止

電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正
受信局 福島局/九州局 自動選択
受信回数 最少1回/日、最多6回/日
受信ON/OFF あり

暗所秒針停止 明暗センサーに連動して停止

付属品
単3形アルカリ乾電池 2個
保証書 1枚
取扱説明書 本書

受信開始時刻について
2時、3時、4時、12時、13時、14時各時間帯
の16分20秒に受信開始。受信回数は受信状態
により変化するが、2時16分20秒は必ず行う。

- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 素材に大理石や天然木を使用しているものは、商品により模様や色味に違いがあることがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似代替品の使用または現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせの際は、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RY○○○

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

R184-QXXZ
(Y1110)